

当事者の望む暮らしの実現を目指す 「ライフプラン」システムの構築

社会福祉法人 東北福祉会

〒989-3201 宮城県仙台市青葉区国見ヶ丘 6 丁目 149-1

助成事業の概要

■目的

当事者の望む暮らしの実現のために、法人としての新たな仕組みとして、ライフプラン（人生設計）システムを構築する。

■時期・内容

平成 23 年 5 月～ 8 月

当事者の望む生活の実現に添ったライフプランの考え方の検討

「自己点検ノート」をベースにして、当法人独自の「ライフプランシート」を作成するために、監修者である石黒氏を招いて勉強会を開催

平成 23 年 9 月～ 12 月

ライフプラン学習会内容及びライフプランシート

（これからの私）内容検討

平成 24 年 1 月 12 日、13 日

ライフプラン学習会開催

（講師：中里仁 せんだんの館総合施設長）

平成 24 年 1 月

施設入居者をモデルとしたライフプランの作成

平成 24 年 1 月～ 3 月

書式の効果検証（アンケート調査実施）

平成 24 年 3 月

実績報告書作成（アンケート調査集計）

事業の成果

- ・新たな仕組み作りとして検討してきた、「ライフプラン」の学習会を全職員対象にて開催出来た。
- ・高齢者福祉施設で暮らす方々の望む生活の実現のためには、介護保険の内容も含めた、その方の生活の総合的を捉えて援助する必要がある、その方の望む生活を実現するための考え方（視点）と方法（アセスメント）について共有することが出来た。
- ・学習会を通して、職員自身が実際関わっている利用者を思い浮かべながら、利用者が望む生活を考えた時に、ケアプランの内容に捉われずに、生活を総合的に捉えて、アセスメントを行い、実践することの大切さを引き出すことが出来た。
- ・学習会で職員自身が考えるきっかけとなったことから、ライフプランシートの作成をするなかで、職員もモデルとして実践し、実際に、職員自身が現在大切にしていることを思い浮かべ、未来について計画シートへ記入を行った。シートを記入してみて、職員の年齢によって回答が異なっていたが、実際に記入することで、考えてはいたが、具体的にシートに記入することで、より具体的に自分を見つめ直し、未来の自分を考えた時に必要なことを知ることが出来たと多数の意見を聞くことが出来、ライフプランは必要との意見を多数聞くことが出来た。
- ・利用者に置き換えて考えた時に、その方それぞれの望む生活の実現を継続的に実現していくた

めには、その方の思いを捉え、未来の計画を立案していく重要性を感じることが出来た。

- ・今回の実践により、職員自身の「ライフプラン」について考えるきっかけとなり、利用者の視点で考え、ライフプランの必要性について確認することが出来た。また、ライフプランシートを実際にモデルとして行うことで、利用者の視点で考え、利用者が思い描けるシート作りへ繋げることが出来た。

■ 今後の展開

施設にて実践したライフプランの成果を活かしながら、地域の方を対象に実施していくことにする。地域の方（介護保険を利用されていない方も含む）を対象に、同様の方法にて、ライフプランを実践していくにあたって、「ライフプランとは何か」学習会などを計画し、ライフプランについての考え方、未来の自分を描いた時の計画の必要性を伝えていく。

また、地域の方に実際に、ライフプランシートを記入してもらい、記入するなかで、地域の方が、思い描けないことや新たに追加する項目など見直し、修正を行っていく。ライフプランを通して地域の方と触れ合いながら、共にライフプランの構築をめざし、地域の方 1 人 1 人が自分の望む生活の実現のためのアプローチ・援助方法について、地域の方と共に、提案していきたいと考える。